

# 平成25年度実施施策に係る政策評価書

(経済産業省25-2-4)

政策名	2 個別産業	施策名	2-4 IT			
施策の概要	日本再興戦略の柱の一つである「世界最高水準のIT社会の実現」に向け、オープンデータやビッグデータの利活用の促進、サイバーセキュリティ対策の強化などの政策を実施する。					
達成すべき目標	日本再興戦略の柱の一つである「世界最高水準のIT社会の実現」に向け、オープンデータやビッグデータの利活用の促進、サイバーセキュリティ対策の強化などの政策を実施し、世界最先端のIT活用社会を実現する。					
施策の予算額、執行額等	区分	23年度	24年度	25年度	26年度	
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	9,668	8,228	7,977	7,423
		補正予算(b)	▲ 170	750	0	-
		繰越し等(c)	18	▲ 750	218	/
		合計(a+b+c)	9,516	8,228	8,195	
執行額(百万円)	8,963	7,974	7,784			
施策に関する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	日本再興戦略、世界最先端IT国家創造宣言					

測定指標	公共データの公開データセット数	実績値					目標値	達成	
		25年度	26年度	-	-	-	27年度	達成	
		2246	-	-	-	-	政府全体で1万以上		
	年度ごとの目標値又は見込み	500	3000	-	-	-			
	情報連携用語彙データベースの開発・実証	施策の進捗状況(実績)			目標		達成		
		25年度	26年度	27年度			達成		
		平成26年8月の概念モデル構築に向けた検討を実施	-	情報連携用語彙データベースの開発・実証の完了					
	年度ごとの目標又は見込み	概念モデルの構築(～平成26年8月)	情報連携用語彙データベースの仕様の策定(平成26年9月～平成27年1月)						
	パソコン1,000台あたりのマルウェア感染率(国際比較) ※マイクロソフト社が悪意あるソフトウェアの削除ソフトを1,000回実行した際に検出したコンピューター台数の目安値。	基準値	実績値					目標値	達成
		24年	25年度	26年度	-	-	-	27年度	-
1.9		9.1	-	-	-	-	数値の改善		
(参考)World Wide		6.3	17.8	-	-	-			
年度ごとの目標値又は見込み		-	-	-	-	-			

評価結果	目標達成度合いの測定結果	(各行政機関共通区分) 目標達成 (判断根拠) ・公共データの公開データセット数、情報連携用語彙データベースの開発・実証等において年度ごとの目標をそれぞれクリアしているなど、施策の目標は達成されたといえる。
	施策の分析	<p>・当省ではオープンデータの検討を政府全体に先駆けて行っており、平成25年1月に日本初のデータカタログサイトである「Open DATA METI」を公開し、省内で保有するデータのオープンデータ化を進めてきた。その結果、これまで得られた知見を内閣官房IT総合戦略室に提供するとともに、平成25年12月に政府データカタログサイト試行版「DATA.GO.JP」が公開された際には、政府全体の目標データセット数である1万データセット数の2割に相当するデータの提供が可能となった。</p> <p>・官民にわたる多くの組織がオープンデータを活用し、分野を超えた情報交換を行うため、個々の単語について表記・意味・データ構造の統一に向けた情報連携用語彙データベースの開発の検討を独立行政法人情報処理推進機構(IPA)と共同で行っている。当該施策は世界最先端IT国家創造宣言にも明記されており、当該宣言の工程表に基づき着実に検討を進めているところ。また、ビッグデータ利活用による新事業・新サービス創出の促進についても、世界最先端IT国家創造宣言に基づき、関係省庁と連携の下、制度改正等の取組を進めているところ。</p> <p>・「パソコン1,000台あたりのマルウェア感染率」は、平成25年度は世界的なウイルスの広がりにより、感染率は上昇したものの、深刻なサイバー攻撃の温床になっている複数の国に跨がったサイバー攻撃を駆除するため、各国のサイバー攻撃対応連絡調整窓口の間で共同対処する等の取組みにより、我が国は、世界水準に比べて低水準を維持しているところ。</p>
	次期目標等への反映の方向性	<p>・公共データの公開セット数については、日本再興戦略においても、位置づけられている成果目標であり、継続して、目標達成へ挑戦をする。</p> <p>・情報連携用語彙データベースの開発・実証についても、世界最先端IT国家創造宣言の中で、位置づけられている目標であり、今後とも継続して検討を進めていく。</p> <p>・マルウェア感染は情報セキュリティにおける脅威の中でも代表的なものであり、感染したPC等が踏み台となりサイバー攻撃に利用されるなど、さらに被害が拡大する要因ともなっている。したがって、我が国マルウェア感染率を国際的に低水準に維持しつつ、ITを安全に利用できる環境を整備していく。</p>

学識経験を有する者の知見の活用	政策評価のあり方を検討する場として、「政策評価懇談会」を設置。その議論を踏まえて省としての政策評価体系や評価の在り方を決定。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	<p>出展:「Open DATA METI」(<a href="http://datameti.go.jp/?lang=ja">http://datameti.go.jp/?lang=ja</a>) ※平成25年度末時点の公開データセット数</p> <p>出展:IPAwebサイト(<a href="http://www.ipa.go.jp/osc/20131120.html">http://www.ipa.go.jp/osc/20131120.html</a>) ※図. 共通用語彙基盤事業の全体像と要件洗い出しに係る事業の位置づけ</p> <p>出典:マイクロソフト社「セキュリティインテリジェンスレポート」</p>
---------------------------	---

担当部局名	商務情報政策局	政策評価実施時期	平成26年8月
-------	---------	----------	---------